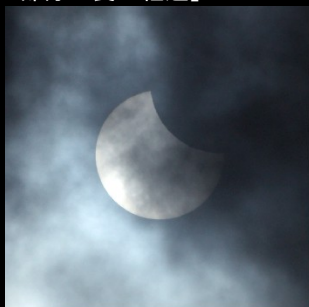


## 「部分日食の経過」



10時20分 F18 1/2000秒  
食分0.30 雲が切れ始める



10時26分 F16 1/2000秒  
食分0.37



10時41分 F9 1/500秒  
食分0.54



10時51分 F13 1/1250秒  
食分0.63



11時03分 F16 1/2000秒  
食分0.72



11時12分 F7.1 1/400秒  
食分0.75 (最大食分)



11時25分 F9 1/640秒  
食分0.70



11時32分 F16 1/1600秒  
食分0.65 雲の中へ消える

## 「日食撮影中の片山」



## 「トンボと日食」 10時51分 F5.1 1/1000秒 食分0.63



撮影者：小林+片山 / 画像処理&編集：片山  
 画像処理ソフト：Adobe Photoshop5.0 / 編集ソフト：OpenOffice.org Ver.3  
 処理PC：SONY VAIO VGN-NS50B/L(Core2 Duo P8400 2.26GHz メモリ4GB)  
 「部分日食の経過」と「雲の中の部分日食」 → カメラ：Canon EOS Kiss X2 (ISO-100)  
 レンズ：EF-S55-250mm F4-5.6 IS 250mmで使用、ND4フィルター  
 「トンボと日食」 → カメラ：富士コンデジ FinePix F100fd (ISO-100)  
 レンズ：f=6.4-32mm F3.3-5.1(5.1)デジタルズーム8.2倍(最大)

7月22日の朝、起きて外を見ると、まだ雨が降っていました。「駄目かなあ」と思いながらネットで雨雲レーダー画像を見てみると、部分日食の始まる頃には、とりあえず雨は上がりそうだったので準備に入りました。赤道儀を組んでFC-50の直焦点で撮影するつもりでしたが、条件が悪いのでカメラ三脚にSLIKの大型自由雲台を付けてKissX2のキット望遠ズームで撮影する事にしました。10時過から雲が切れ始め、時々雲間から太陽が顔を出し、撮影に入りましたが雲を通しての撮影なので、準備しておいたD4(1万分の1減光)フィルターでは減光しすぎです。しかしD4を外すと露出オーバーになる場合もあり、露出調整用に準備しておいたND4(4分の1減光)フィルターを付けました。すると丁度よい感じで、後はカメラのプログラムAEとAFに任せ、おまけにIS(手ぶれ防止機構)で次々と撮影して行きました。10時20分頃から11時30分過ぎに雲に隠れて見えなくなるまでの間の画像を、できるだけ同じ「時間間隔」で並べたのが、上の連続画像「部分日食の経過」です。今回は雲を通しての撮影だったので、フィルターを付けないコンパクトデジカメでも撮影できて、右上のコンデジ画像にはトンボも一緒に写っています。(片山 徹)



「雲の中の部分日食」 今回の部分日食を象徴する様な画像です。  
 10時24分 F18 1/2500秒 食分0.37 (ノートリミング)